

第9回 保険証がマイナ保険証に一本化

12月1日、従^{じゅうらい}来の紙やカードでできた健康保険証の有効期限が切れ、12月2日以降、**「マイナ保険証」**に一本化されることになりました。「マイナ保険証」とは、**マイナンバーカード**（個人番号カード）と健康保険証が一体となったものです。

2016年、政府はさまざまな業務を効率的に行うため、**マイナンバーカード**の発行を始めました。そして2021年以降、**マイナンバーカード**は「マイナ保険証」としても利用できるようになっていきます。

政府は当初、2024年12月に、「**マイナ保険証**」への一本化を予定していましたが、普及^{ふきゅうりつ}率が低く、1年延期^{えんき}されていました。**厚生労働省**^{こうせい}によると、2025年10月末の時点での「**マイナ保険証**」の利用率は約37%にとどまっています。

そのため、**厚生労働省**は、12月2日以降も、従来の健康保険証を2026年3月末まで条件付きで使用できるとする特例措置^{そち}を打ち出しています。

「**マイナ保険証**」をもっていると、自営業者などの個人事業主が税を納める^{おさ}とき、必要となる医療^{いりょう}費^ひのデータをまとめて取得することができます。しかし、患者^{かんじゃ}の**個人情報**が流出するおそれなどから、「**マイナ保険証**」に反対する声があります。

チャレンジ問題

- 1 12月2日以降、「(A) 保険証」に一本化されることになりました。
「(A) 保険証」とは、マイナンバーカードと健康保険証が一体となったものです。(A) にあてはまることばをカタカナで答えなさい。
- 2 (B) 省は、12月2日以降も、^{じゅうらい}従来の健康保険証を2026年3月末まで条件付きで使用できるとする特例^{そち}措置を打ち出しています。(B) にあてはまることばを答えなさい。
- 3 「(A) 保険証」やマイナンバーカードにより、各種の手続きが^{かんそか}簡素化できます。その一方、これらにひもづけられた(C) がもれるおそれがあると心配する声があります。(C) にあてはまることばを漢字4字で答えなさい。

答え

- 1 マイナ
- 2 厚生労働
- 3 個人情報